

【別紙様式】

# 令和5年度教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	学 校 名
30	海津明誠高等学校

<p>学校教育目標</p>	<p>1 教育目標 生徒一人一人を大切に、自ら学び自ら考える力を育てるとともに、心豊かな人間性を育成し、心身ともに健康で社会に貢献できる人間を育てる。</p> <p>2 教育方針 (1) 自らの目標を達成するための確かな学力の定着と主体的な学習態度の育成。 (2) 基本的な生活習慣を培い、礼儀や規律を重視した指導の徹底。 (3) 「開かれた学校づくり」を推進し、家庭や地域社会から信頼され支持される学校づくり。</p>		
<p>スクール・ポリシー</p>	<p>『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー (GP)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自ら挨拶する明誠高生」 自他の生命と人格を尊重し、多様な個人と文化を理解することのできる、思いやりをもってコミュニケーションを行うことのできる生徒</li> <li>・「積極的に学ぶ明誠高生」 様々な社会変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓くために、自分で目標を設定し、なりたい自分の姿を思い描きながら、生涯を通して学び続けることのできる生徒</li> <li>・「ふるさと、海津に貢献する明誠高生」 地域に唯一の高校で学んでいることを自覚しながら、地球的規模の視点から、地域の持続可能性に対する理解を深め、地域の人々と連携・協働して社会貢献できる生徒</li> </ul>	<p>『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー (CP)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普通科・ビジネス情報科・生活デザイン科の3つの学科がある学校の特色を生かし、地域との連携を深め、地域課題を発見・解決するふるさと教育の推進</li> <li>・探究的な学習過程を重視し、主体的・対話的な深い学びの機会を充実し、協働的な学びを通じた、個々の「知識・技能」および「思考力・判断力・表現力」の育成</li> <li>・ICT活用授業、習熟度別授業や少人数制授業により基礎学力の定着を図り、進路希望と特性に応じたコース選択によった、大学進学に対応できる学力の向上ならびに、地元企業等で即戦力となる人材の育成</li> <li>・商業に関する専門的な知識と技術を身に付けさせて資格取得を図り、知識基盤やグローバル化といった多様化するビジネス社会に対応できる能力と態度の育成</li> <li>・地域に根差した福祉活動や交流活動、体験的な学習、資格取得や各種コンクールへの挑戦を通じた、生活における様々な課題を自ら解決できる力と職業観・倫理観の育成</li> </ul>	<p>『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー (AP)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人とのつながりの中で、感謝の気持ちを忘れずに、規則正しい生活を送り、ルールを守り、誠実な態度で高校生活を前向きに送り、自分を成長させようとする意志をもった生徒</li> <li>・学習や学校内外の諸活動 (HR 活動・生徒会活動・部活動・学校行事・ボランティア活動等) において、自分の可能性を信じて実践を発展させたり、新たにチャレンジしたりしようとする生徒</li> <li>・人の意見に耳を傾ける姿勢・自分の考えを伝える力・様々な見方や論理的な考え方を身に付けようとする生徒</li> <li>・高校生活を送る海津市を始めとする自分が育ったそれぞれの地域とのつながりを大切に、地域の担い手となって、よりよい社会を築いていこうとする思いをもった生徒</li> </ul>

教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)	重点目標の達成に必要な主な具体的取組、方策	達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
<p>1 「自ら挨拶する明誠高生」を育成する教育の充実</p>	<p>① 礼儀や生活規律、授業規律を確立し、受容的態度の育成に取り組みます。(生徒会、MSリーダーズや部活動と連携した挨拶運動の推進、場面に応じた言葉遣いの励行とマナーの向上、遅刻防止指導の徹底、月間重点目標の明確化：遅刻のべ500回以内)</p>	<p>① 自己評価、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの実施 ② 遅刻数の減少(遅刻のべ500回以内) ③ 授業評価の実施及び教員相互評価の実施 ④ 交通事故発生件数の減少、命を守る訓練(防災</p>

	<p>②規範意識を醸成し、道徳的実践力の育成に取り組みます。  ③生徒の自主的な活動に発展することを企図したロングホームルーム活動を充実します。  ④危機管理体制を確立し、交通事故の防止に努めるとともに、防災教育を推進し、危機管理意識の醸成に取り組みます。  ⑤教育相談活動を充実し、適切に情報を共有し、保護者と連携しながら早期の対応に努めます。</p>	<p>避難訓練)の実施、学校防災マニュアルの適正な運用  ⑤教員の共通理解による早期の対応と情報共有、スクールカウンセラー・スクール相談員等を活用した教育相談の充実</p>
<p>2 「積極的に学ぶ明誠高生」を育成する教育の充実</p>	<p>①年間指導計画や単元別評価規準に基づいた授業を展開するとともに、シラバス・ループブックを活用した適正な観点別評価に取り組みます。  ②Me t a M o j i を始めとする学習支援ソフトを活用した授業改善に取り組み、効果的なICT教育を推進します。  ③総合的な探究の時間について、今まで蓄積した実践を活用し、よりよい実践のあり方を研究します。  ④入学時の初期指導(明誠スタートライン)や朝読書を充実し、主体的に学ぶ態度の育成に努めます。  ⑤「進路意識を高める事業」「学力を高める事業」「進路実現を支援する事業」を通して生徒のキャリア発達の支援に努めます。  ⑥進路サポーター制度を活用し、変化する入試制度や就職状況に対応した丁寧な進路実現を支援します。  ⑦特色と魅力のある学科運営に努め、専門教育のより一層の充実を図ります。</p>	<p>①研究授業・公開授業の実施、授業研究会・実践発表会の実施、生徒による授業評価(年2回)の実施、言語運用能力の育成及び基礎学力の定着を意図した授業研究と指導計画の作成、定期考査問題の作成と評価、家庭学習時間調査の実施  ②進路目標の明確化とその達成度の把握、「進路の手引き」の有効活用、インターンシップの実施と成果、補習授業の充実と模擬試験結果の考察  ③検定試験への挑戦、学習成果発表会の開催、高齢者宅への配食サービス、家庭科関係コンクールへの挑戦</p>
<p>3 「ふるさと、海津に貢献する明誠高生」を育成する教育の充実</p>	<p>①地域連携による活力ある高校づくり推進事業の取組を推進し、地域貢献活動に取り組みます。  ②生徒会・学校家庭クラブ・MSリーダーズと連携し、地域のイベント・祭りへの参加、交通安全啓発活動等を充実し、ボランティア活動に積極的に参加するよう支援します。  ③計画的な中学校訪問や学校説明会、学校HP、市報「かいづ」、PTAだより等各種広報活動を行い、本校の教育活動を積極的に発信します。  ④PTA活動と連携し、保護者の理解・協力を得られるようにします。</p>	<p>①生徒会活動、学校家庭クラブ活動、MSリーダーズ活動等の活動成果  ②明誠祭、教育週間への保護者・地域住民の参加促進  ③学校HPの充実・更新、市報「かいづ」、新聞等への掲載  ④PTA活動の充実、保護者向け進路説明会や大学見学会の開催  ⑤それぞれの学科の特色を生かしたふるさと教育への取組</p>
<p>4 部活動の充実</p>	<p>①生徒の自己肯定感を育み、自己実現を図るための一つの場として、部活動の充実を図ります。</p>	<p>①部活動参加者の増加及び全ての部活動の活発な活動の推進  ②ヨット部、ウエイトリフティング部、女子バレーボール部(ビーチバレー)、少林寺拳法部、硬式野球部等の全国大会出場を目指した活動の充実  ③商業部(ワープロ・珠算・電算部)の県大会上位入賞を目指した活動の充実  ④吹奏楽部、伝統文化部等文化系部活動の積極的な地域行事参加</p>